

## 空き家が原因で隣人とトラブルになるって本当？近隣トラブルを起こさない方法を紹介！



空き家を放置すると様々な問題が発生しますが、近隣住民とのトラブルもその1つです。空き家を放置すると、近隣住民とどんなトラブルが起きるのでしょうか。

また、近隣住民とのトラブルを回避するにはどうすれば良いのでしょうか。空き家が原因で起きる隣人トラブルについて調べてみました。

### 空き家が原因で起こる隣人トラブル

空き家を放置したままにすると、隣人とトラブルになることがあります。トラブルの原因は様々で、倒壊の危険、景観の悪化、異臭、治安の悪化などが挙げられます。空き家を長期間放置すると倒壊の危険がありますし、朽ち果てた空き家は周囲の景観を損ねます。

当然ながら、放置された空き家が近くがあれば、その一帯の資産価値も下がる恐れがあります。

その場合は、苦情を言われることになるでしょう。また、明らかに手入れがされていない空き家は、格好のゴミ捨て場と化す場合が多いです。

粗大ごみや生ごみの不法投棄を招きやすいため、周囲に異臭を放つようになります。さらに、管理されていない空き家は、不審者が出入りしたり、近所の中高生などのたまり場になったりすることもあり、治安の悪化を招きます。

また、空き家は放火されやすいので、不審火が発生する恐れもあります。燃えるのが空き家だけならまだ良いのですが、隣家に類焼が及ぶ可能性もあるわけです。このような問題が発生するため、空き家を放置すると隣人との間にトラブルが起きやすいのです。

## 隣人とのトラブルを回避するには

このように、空き家を放置すると様々な問題があり、近隣住民に多大な迷惑を及ぼす恐れがあります。つまり、長期間放置された空き家が1軒あるだけで、近隣住民は気が休まらないのです。隣人とのトラブルを避けるためにも、所有者が空き家を定期的に管理する必要があります。

もし、遠方で通いづらかったり、仕事が忙しくて定期的な管理が困難だったりするのであれば、管理代行会社に委託する方法もあります。また、空き家を売却したり賃貸物件として貸し出したりすることも可能です。空き家を売却すれば、まとまったお金が入る上に空き家を管理する必要もなくなるでしょう。

ただし、当たり前ですが売却すれば空き家は他人の手に渡ります。これに対し、空き家を賃貸物件として貸し出せば、物件は手元に残したまま家賃収入を得ることができるのでおすすめです。

## まとめ

空き家を放置すると、倒壊の危険、景観の悪化、異臭、治安の悪化などにより、近隣住民とトラブルになることがあります。これを避けるためには定期的に空き家を管理する必要があります。それが困難であれば、売却したり賃貸物件として貸し出す方法もあるでしょう。空き家の放置は近隣住民に多大な迷惑をかけるので、適切な処置が必要です。